

## H8PASコンパイルの手順

Aug. 15 ' 08 b y @

### 1. コンパイル

ソースプログラムをコンパイルします。 コンパイルするとASMファイルがソースと同じホルダに作成されます。

### 2. アセンブル

コンパイルされたASMファイルをアセンブルします。 アセンブルするとHEXファイル、LSTファイル、XRFファイルが作成されます。 作成される場所は同じホルダです。

### 3. メモリに書き込む

出来上がったファイルをメモリに書き込む方法です。

ターゲットがPROMの場合は4、CPUのフラッシュメモリの場合は5を実行します。

### 4. PROMに書き込む

HEXSENDプログラムでHEXファイルを送信します。 ランタイムルーチンのHEXファイルと今回作成したHEXファイルをROMライターに送信後ROMに書き込みをおこないます。

### 5. CPUのフラッシュメモリに書き込む

秋月のH8ライトターボ等でCPUに書き込みを行います。 本ソフトはHEXファイルを生成なので、H8ライトターボ用のMOT形式に変換する必要があります。 ランタイムルーチン(RTR.HEX)と今回作成したHEXファイルを1つのHEXファイルにして、HEX MOTプログラムで変換を行えばOKです。 変換手順は以下の通りです。

- RTR.HEXを秀丸等で読み込む。
- 最後の行(: 00000001FF)を削除する。
- 今回作成のHEXファイルをその後ろに読み込む。
- ( から ) までのコメントを削除する。
- 適当な名前をつけて保存する(拡張子はHEX)
- HEXMOTに今できたファイルをドラッグする。MOTファイルができる。
- このMOTファイルでCPUに書き込む。

### 6. その他

